

コロナ禍の折り、酷暑お見舞い申し上げます。

お盆が過ぎたものの、暑さが鎮まる様子はありません。心から酷暑お見舞い申し上げます。そして、「新型コロナウイルス感染症」も、一向に終息の気配を見せません。今年の夏は、コロナ感染症により「日本社会がこれまで体験したことのない初めての夏」と形容されるほど様変わりした夏となっています。

猛暑はしばらく続きそうです。コロナ感染症の拡大も懸念されるなか、市民の皆様には自粛生活が続き、また経営活動にも大きな影響が出るなど、難局が続きます。何卒、くれぐれもお身体にはご自愛ください。

県としてコロナ感染症への対応・対策を引き続き進めます！

8/23現在、直近1週間(8/16~8/22)では497人。福岡県内の現在感染者数は912人(入院、自宅療養)、累計感染者数4,055人(福岡市2,360人)、死亡者数48人、退院者数3,095人、経路不明者の割合63.2%、病床稼働率58.6%、重症病床稼働率26.7%となっています。

経済活動、日常生活など、社会活動上様々な分野でご不便が続いていると思いますが、引き続き感染防止対策へのご協力をお願い致します。

8月22日以降の事業者・県民に対する協力要請について

福岡県は、「新型コロナウイルス感染症」の県内拡大に伴い、8月5日~21日までの期間「福岡コロナ警報」を発動、事業者や県民に対する協力要請を行っていました。

具体的には、事業に対しては、「接待を伴う施設(バー、ナイトクラブ、キャバクラ、カラオケ店等)」「酒類の提供を行う飲食店(居酒屋、焼鳥店等)」については、業種別ガイドラインの遵守を求め、感染防止に取り組んでいる場合は「感染防止宣言ステッカー」を入りに貼付することとしています。なお、業種別ガイドラインを遵守していない店には休業協力を要請(この場合は休業補償はない)しています。

また、県民に対しては、「感染防止宣言ステッカー」を掲示しているお店を利用する事、滞在時間は2時間以内とし、2次会は控えることを要請しました。

この結果、感染症の拡大を一定防げたとして、小川知事は8月20日の記者会見で、8月22日から上記の要請を解除する旨を公表するとともに、新たに以下の対応を求めています。

1. 県民の皆様へ

(1)8/8~8/21までの間の要請を解除します。

①会食や飲み会等は2時間以内とする。

②福岡市内の接待を伴う飲食店等で、「業種別ガイドライン」を遵守していない店に対する休業協力要請。

(2)その上で、以下の点について、引き続き県民の皆様にご要請致します。

①大人数での会食や飲み会については、人数や会場の広さ、換気などを総合的に勘案し、感染防止対策の徹底が図れないときは、控えること。